

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				I P O 記入欄				備考					
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果							
							細則（※1）	評価日	評価者	規約（※2）			細則（※1）	評価日	評価者	規約（※2）			
1	3. 1. 1-1	3層構造	1	1	システムの層構造														
2	3. 1. 2-1	システム構成要素	1	1	3層構造を構成するシステム構成要素														
3	3. 1. 2-2	業務層の分割	1	1	業務層の分割														
4	3. 1. 3-1	アクセスパス	1	1	システム構成要素間の接続														
			2	1	〔BF管理〕 へのアクセス														
			3	1	〔BF管理〕 にSIF以外のIF無し														
			4	1	【業務AP（画面）】にSIF無し														
			2		【業務AP（画面）】への画面呼び出し以外の外部アクセス無し														
			5	1	【業務AP（サービス）】へのアクセス														
			6	1	【業務AP（サービス）】にSIF以外のIF無し														
			7	1	【業務AP（バッチ）】にSIF無し														
			2		【業務AP（バッチ）】にFTP以外の外部アクセス無し														
			8	1	【個別DB】へのアクセス														
			9	1	【BR管理】へのアクセス														
			10	1	【BR管理】にSIF以外のIF無し														
			11	1	【外部システム連携】へのアクセス														
			12	1	【業務AP（外受）】へのアクセス														
			13	1	【業務AP（外受）】にSIF無し														
			14	1	【DBアクセス基盤サービス】へのアクセス														
15	1	【DBアクセス基盤サービス】にSIF以外のIF無し																	
16	1	【共有DB】へのアクセス																	
5	3. 1. 3-2	サブシステム間アクセスパス	1	1															
6	3. 1. 4-1	アクセスパスのプロトコル	1	1	アクセスパスのプロトコル														
7	3. 1. 5-1	サービスインタフェースを提供するシステム構成要素	1	1	SIFを提供するシステム構成要素														
8	3. 1. 5-2	サービスインタフェース	1	1	SIFの詳細														
9	3. 1. 5-3	HTTPヘッダ	1	1	HTTPヘッダ														
10	3. 1. 5-4	HTTPステータスコード	1	1	HTTPステータスコード														
11	3. 2. 1-1	ビジネスプロセス	1	1	業務の流れの定義方法														
12	3. 2. 1-2	ビジネスプロセスの表記	1	1	ビジネスプロセスの表記														
			2	1															
13	3. 2. 1-3	ビジネスフロー管理の責務	1	1	BF管理の責務														
14	3. 2. 1-4	ビジネスフロー管理のサービスインタフェース	1	1	BF管理のSIF														
			2		BF管理のSIFの提供														

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				J P O 記入欄				備考				
						記載箇所	コメント			確認箇所	コメント							
						※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則（※1）	評価日	評価者	規約（※2）	※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載		細則（※1）	評価日	評価者	規約（※2）
			2	1	BF管理のSIFのURIおよび入出力XML													
			3	1	BF管理のSIFの応答													
			4	1	BF管理のSIFのURIのバージョン情報													
15	3.2.1-5	サービスタスク及びユーザタスクの粒度	1	1	サービスタスクの粒度及びユーザタスクの粒度													
16	3.2.1-6	ビジネスフロー管理データ	1	1	BF管理が管理するデータ													
17	3.2.1-7	ビジネスフロー管理データの設定と有効範囲	1	1	業務キーの定義数													
			2	1	分岐条件情報の保持数													
			3	1	連携先業務キーの保持方法													
			4	1	BF管理データの設定タイミング及び有効範囲													
			5	1	分岐条件情報取得の位置の方式													
				2	分岐条件情報取得の位置													
			6	1	連携先業務キー取得の位置の方式													
				2	連携先業務キー取得の位置													
18	3.2.1-8	ビジネスフロー管理に対するアクセスパスの特例	1	1														
19	3.2.1-9	ビジネスフロー管理における異常時の動作	1	1	BF管理異常動作時の方式													
20	3.2.2-1	業務アプリケーション（サービス）の責務	1	1	業務AP（サービス）の責務													
21	3.2.2-2	業務アプリケーション（サービス）の類型	1	1	業務AP（サービス）の分類													
22	3.2.2-3	ビジネスフロー管理と業務アプリケーション（サービス）との整合	1	1	業務AP（サービス）類型1xとサービスタスクの整合性													
			2	1	業務AP（サービス）類型1xの単位													
23	3.2.2-4	業務アプリケーション（サービス）に対するアクセスパスの特例	1	1														
24	3.2.2-5	業務アプリケーション（サービス）類型1のサービスインタフェース	1	1	業務AP（サービス）類型1xのSIFの方式													
			2		業務AP（サービス）類型1xのSIFの提供													
			2	1	業務AP（サービス）類型1xのSIFのURIおよび入出力XML													
25	3.2.2-6	業務アプリケーション（サービス）類型2Aのサービスインタフェース	1	1	業務AP（サービス）類型2AのSIFの方式													
			2		業務AP（サービス）類型2AのSIFの提供													
			2	1	業務AP（サービス）類型2AのSIFの仕様													
26	3.2.2-7	業務アプリケーション（サービス）類型2Bのサービスインタフェース	1	1	業務AP（サービス）類型2BのSIFの方式													
			2		業務AP（サービス）類型2BのSIFの提供													
			2	1	業務AP（サービス）類型2BのSIFのURIと入出力XML構造													
27	3.2.3-1	業務アプリケーション（画面）の責務	1	1	業務AP（画面）の責務													
28	3.2.3-2	業務アプリケーション（画面）の構成	1	1	業務AP（画面）の構成													
29	3.2.3-3	WEBブラウザを利用した構成における制限	1	1	業務AP（画面）のWEBブラウザ利用制限													
30	3.2.3-4	業務アプリケーション（画面）の単位、画面群の定義及び画面遷移の制限	1	1	業務AP（画面）のPG単位													

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				J P O 記入欄				備考				
						記載箇所		コメント		評価結果		確認箇所			コメント		評価結果	
						※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	細則（※1）	評価日	評価者	規約（※2）	※設計成果物名と章項節を記載	※評価が「適合」以外の場合は必ず記載		細則（※1）	評価日	評価者	規約（※2）
			2	1	画面群を構成する画面の機能特性の同一性													
			3	1	画面群を構成する画面の機能特性の整合性													
			4	1	業務AP（画面）の起動													
31	3.2.3-5	業務アプリケーション（画面）とビジネスフロー管理との整合	1	1	ユーザタスクに対応する業務AP（画面）の整合性													
32	3.2.4-1	業務アプリケーション（パッチ）の責務	1	1	業務AP（パッチ）の業務処理の妥当性													
33	3.2.4-2	業務アプリケーション（パッチ）とビジネスフロー管理との関係	1	1	業務AP（パッチ）とBF管理の関係													
34	3.2.5-1	個別データベースの責務	1	1	個別DBの責務													
35	3.2.5-2	個別データベースに配置するデータ	1	1	個別DBに配置するデータの妥当性													
			2	1	個別DBのデータに対する一連の処理													
36	3.2.5-3	個別連携一時データとして配置するデータ	1	1	個別連携一時データの整合性													
37	3.2.6-1	ビジネスルール管理の責務	1	1	BR管理の処理内容													
			2	1	BRの種別													
38	3.2.7-1	DBアクセス基盤サービスの責務	1	1	DBアクセス基盤サービスの責務													
39	3.2.7-2	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース	1	1	DBアクセス基盤サービス提供SIFの妥当性													
			2		DBアクセス基盤サービスのSIFの提供（事件）													
			3		DBアクセス基盤サービスのSIFの提供（書類）													
			2	1	DBアクセス基盤サービスのSIFのURIと入出力XML構造および仕様													
40	3.2.7-3	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースにおける入力XML	1	1	DBアクセス基盤サービスのSIFにおける入力XMLの規則													
41	3.2.7-4	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースにおける事件データの名前空間	1	1	事件データ配下の要素の名前空間の設定													
			2	1	事件データ配下の要素の名前空間のコード仕様作成方針													
			2		事件データ配下の要素の名前空間のコード仕様作成結果													
42	3.2.7-5	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースに関するアクセス制限	1	1	DBアクセス基盤サービスのSIFのアクセス制限													
43	3.2.7-6	共有データベースに対するアクセス	1	1														
44	3.2.8-1	共有データベースの責務	1	1	共有DBのデータ管理													
45	3.2.8-2	共有データベースに配置するデータ	1	1	共有DBに配置するデータの整合性													
			2	1	共有DBのデータに対する一連処理													
46	3.2.8-3	共有データベースへのアクセス	1	1	共有DBが提供する機能													
47	3.2.9-1	外部システム連携の配置	1	1	外部システム連携の配置の妥当性													
48	3.2.9-2	外部システム連携の機能と単位	1	1	外部システム連携機能のギャップ吸収処理（外部IF）													
			1	2	外部システム連携機能のギャップ吸収処理（SIF）													
			2	1	外部システム連携の単位													
49	3.2.9-3	内部システムから外部システム連携へのアクセスパス	1	1														
50	3.2.9-4	外部システム連携から内部システムへのアクセスパス	1	1														

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				J P O 記入欄				備考			
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果					
								細則（※1）	評価日			評価者	規約（※2）		細則（※1）	評価日	評価者
51	3.2.9-5	外部システム連携に関するアクセスパスのプロトコル	1	1	外部システム連携のプロトコル												
52	3.2.9-6	外部システム連携のサービスインタフェース	1	1	内部システムから外部システム連携へのアクセスパス												
			2	1													
			3	1	「BF管理的な外部システム連携」へのアクセス												
				2	「業務AP（サービスのな外部システム連携」へのアクセス												
				3	「DBアクセス基盤サービスのな外部システム連携」へのアクセス												
53	3.2.10-1	業務アプリケーション（外受）の責務	1	1	業務AP（外受）の責務												
54	3.2.10-2	業務アプリケーション（外受）の配置と機能	1	1	業務AP（外受）の配置												
			2	1	業務AP（外受）の提供機能												
55	3.2.10-3	業務アプリケーション（外受）へのアクセスパス	1	1													
56	3.2.10-4	業務アプリケーション（外受）からのアクセスパス	1	1													
57	3.3.1-1	サブシステム間の連携1（契機）	1	1	サブシステム間の契機授受方法												
			2	1	連携先が業務AP（サービス）時の一意特定不可（通知）												
				2	連携先が業務AP（サービス）時の一意特定不可（業務処理）												
58	3.3.1-2	サブシステム間の連携2（業務情報）	1	1	サブシステム間での業務情報授受方法												
59	3.4.1-1	重複データの禁止	1	1	重複データ排除の方針												
60	3.4.2-1	業務アプリケーションの版管理	1	1	同一業務の版管理（業務AP（サービス））												
			2	同一業務の版管理（業務AP（画面））													
			3	同一業務の版管理（業務AP（パッチ））													
			4	同一業務の版管理（業務AP（外受））													
			2	1	版管理された業務AP（サービス）の利用方法												
61	3.4.3-1	使用する文字コード	1	1	システム構成要素間の入出力で使用する文字												
62	3.4.4-1	システム利用者の認証・認可	1	1	業務AP（画面）のシステム利用者の認証・認可												
63	3.4.4-2	システム構成要素間の認証・認可	1	1	システム構成要素間の認証・認可												
64	3.4.5-1	業務キーと業務キー区分名の基本的構成	1	1													

*1: 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。
*2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。
例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。
導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				I P O 記入欄				備考					
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果							
							細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)			細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)			
1	3.1.1-1	3層構造	1	1															
2	3.1.2-1	システム構成要素	1	1															
3	3.1.2-2	業務層の分割	1	1															
4	3.1.3-1	アクセスパス	1	1															
			2	1	「BF管理」 へのアクセス														
			3	1	「BF管理」 にSIF以外のIF無し														
			4	1	「業務AP（画面）」 にSIF無し														
					「業務AP（画面）」 への画面呼び出し以外の外部アクセス無し														
			5	1	「業務AP（サービス）」 へのアクセス														
			6	1	「業務AP（サービス）」 にSIF以外のIF無し														
			7	1	「業務AP（バッチ）」 にSIF無し														
					「業務AP（バッチ）」 にFTP以外の外部アクセス無し														
			8	1	「個別DB」 へのアクセス														
			9	1	「BR管理」 へのアクセス														
			10	1	「BR管理」 にSIF以外のIF無し														
			11	1	「外部システム連携」 へのアクセス														
			12	1	「業務AP（外受）」 へのアクセス														
			13	1	「業務AP（外受）」 にSIF無し														
			14	1	「DBアクセス基盤サービス」 へのアクセス														
15	1	「DBアクセス基盤サービス」 にSIF以外のIF無し																	
16	1	「共有DB」 へのアクセス																	
5	3.1.3-2	サブシステム間アクセスパス	1	1															
6	3.1.4-1	アクセスパスのプロトコル	1	1															
7	3.1.5-1	サービスインタフェースを提供するシステム構成要素	1	1															
8	3.1.5-2	サービスインタフェース	1	1															
			2	1	URIの定義														
			3	1	版（バージョン）の特定														
			4	1	シングルバイト文字の使用														
			5	1															
			6	1	XML Schemaの提供														
			7	1	バイナリデータのエンコード														
			8	1															
9	1	HTTPステータスコードの定義																	

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				I P O 記入欄				備考			
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果				確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果			
								細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)			細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)
			10	1	HTTPステータスコードの定義に準じた結果の返却												
			11	1	URIの利用者識別情報含有												
			12	1	URIの受付ポート含有												
9	3.1.5-3	HTTPヘッダ	1	1	SIFのHTTPヘッダの設定												
			2	2	SIFのリクエストヘッダの設定												
			3	3	SIFのエンティティヘッダの設定												
10	3.1.5-4	HTTPステータスコード	1	1													
			2	1	SIFのHTTPステータスコード値の定義 (BF管理)												
			3	1	SIFのHTTPステータスコード値の定義 (業務AP (サービス) 類型1)												
			4	1	SIFのHTTPステータスコード値の定義 (業務AP (サービス) 類型2)												
			5	1	SIFのHTTPステータスコード値の定義 (BR管理)												
			6	1	SIFのHTTPステータスコード値の定義 (DBアクセス基盤サービス)												
11	3.2.1-1	ビジネスプロセス	1	1													
12	3.2.1-2	ビジネスプロセスの表記	1	1													
			2	1													
13	3.2.1-3	ビジネスフロー管理の責務	1	1													
14	3.2.1-4	ビジネスフロー管理のサービスインタフェース	1	1	BF管理のSIFの提供												
			2	1	BF管理のSIFのURIの構成												
			3	1	BF管理のSIFの入力XML構造の構成												
			4	1	BF管理のSIFの出力XML構造の構成												
			5	1													
			6	1													
15	3.2.1-5	サービスタスク及びユーザタスクの粒度	1	1													
16	3.2.1-6	ビジネスフロー管理データ	1	1													
			2	1	BF管理が管理するデータ												
17	3.2.1-7	ビジネスフロー管理データの設定と有効範囲	1	1	業務キー情報の整合性												
			2	1	分岐条件情報の整合性												
			3	1	連携先業務キー情報の整合性												
18	3.2.1-8	ビジネスフロー管理に対するアクセスパスの特例	1	1													
19	3.2.1-9	ビジネスフロー管理における異常時の動作	1	1													
20	3.2.2-1	業務アプリケーション (サービス) の責務	1	1													
21	3.2.2-2	業務アプリケーション (サービス) の類型	1	1	業務AP (サービス) の分類												
22	3.2.2-3	ビジネスフロー管理と業務アプリケーション (サービス) との整合	1	1	業務AP (サービス) 類型1xとサービスタスクの整合性												

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				I P O 記入欄				備考				
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果						
							細則(※1)	評価日	評価者	規約(※2)			細則(※1)	評価日	評価者	規約(※2)		
			2	1	業務AP（サービス）類型1xの単位													
23	3. 2. 2-4	業務アプリケーション（サービス）に対するアクセスパスの特例	1	1														
24	3. 2. 2-5	業務アプリケーション（サービス） 類型1のサービスインタフェース	1	1	業務AP（サービス）類型1xのSIFの提供													
			2	1	業務AP（サービス）のSIFのURI													
				2	業務AP（サービス）のSIFのHTTPメソッド													
			3	1	業務AP（サービス）のSIFの入力XML													
			4	1	業務AP（サービス）のSIFの出力XML													
25	3. 2. 2-6	業務アプリケーション（サービス） 類型2Aのサービスインタフェース	1	1	業務AP（サービス）類型2AのSIFの提供													
			2	1	業務AP（サービス）類型2AのSIFの仕様													
				2	業務AP（サービス）類型2AのSIFのHTTPメソッド													
26	3. 2. 2-7	業務アプリケーション（サービス） 類型2Bのサービスインタフェース	1	1	業務AP（サービス）類型2BのSIFの提供													
			2	1	業務AP（サービス）類型2BのSIFのURI													
				2	業務AP（サービス）類型2BのSIFのHTTPメソッド													
			3	1	業務AP（サービス）類型2BのSIFの入力XML													
			4	1	業務AP（サービス）類型2BのSIFの出力XML													
27	3. 2. 3-1	業務アプリケーション（画面）の責務	1	1														
28	3. 2. 3-2	業務アプリケーション（画面）の構成	1	1														
29	3. 2. 3-3	WEBブラウザを利用した構成における制限	1	1														
30	3. 2. 3-4	業務アプリケーション（画面）の単位、画面群の定義及び画面遷移の制限	1	1	業務AP（画面）のPG単位													
			2	1														
			3	1	業務AP（画面）の起動													
			4	1	業務AP（画面）間の遷移方法													
31	3. 2. 3-5	業務アプリケーション（画面）とビジネスフロー管理との整合	1	1	ユーザタスクに対応する業務AP（画面）の整合性													
32	3. 2. 4-1	業務アプリケーション（バッチ）の責務	1	1														
33	3. 2. 4-2	業務アプリケーション（バッチ）とビジネスフロー管理との関係	1	1	業務AP（バッチ）による業務の流れの制御（メッセージ）													
				2	業務AP（バッチ）による業務の流れの制御（ユーザタスク）													
				3	業務AP（バッチ）を使用した不適切処理の検出													
34	3. 2. 5-1	個別データベースの責務	1	1														
35	3. 2. 5-2	個別データベースに配置するデータの妥当性	1	1	個別DBに配置するデータの妥当性													
			2	1														
36	3. 2. 5-3	個別連携一時データとして配置するデータ	1	1	個別連携一時データの整合性													
37	3. 2. 6-1	ビジネスルール管理の責務	1	1														
			2	1														

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				I P O 記入欄								備考
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント		評価結果	確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント		評価結果	細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)	
38	3.2.7-1	DBアクセス基盤サービスの責務	1	1														
39	3.2.7-2	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェース	1	1	(1) DBアクセス基盤サービスは、少なくとも「表 3.2-12 DBアクセス													
			2	1	URIが『別冊2 サービスインタフェース仕様 (URI・入出力XML構													
			3	1	入力XML構造が『別冊2 サービスインタフェース仕様 (URI・入出力													
			4	1	出力XML構造が『別冊2 サービスインタフェース仕様 (URI・入出力													
			5	1	DBアクセス基盤サービスが提供するサービスインタフェースについ													
40	3.2.7-3	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースにおける入力XML	1	1														
			2	1														
			3	1														
41	3.2.7-4	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースにおける事件データの名前空間	1	1	事件データ配下の要素の名前空間の設定													
			2	1														
42	3.2.7-5	DBアクセス基盤サービスのサービスインタフェースに関するアクセス制限	1	1														
43	3.2.7-6	共有データベースに対するアクセス	1	1														
44	3.2.8-1	共有データベースの責務	1	1														
45	3.2.8-2	共有データベースに配置するデータ	1	1	共有DBに配置するデータの整合性													
			2	1														
46	3.2.8-3	共有データベースへのアクセス	1	1														
47	3.2.9-1	外部システム連携の配置	1	1	外部システム連携の配置の妥当性													
48	3.2.9-2	外部システム連携の機能と単位	1	1	外部システム連携機能のギャップ吸収処理 (外部IF)													
			2		外部システム連携機能のギャップ吸収処理 (SIF)													
			2	1	外部システム連携の単位													
49	3.2.9-3	内部システムから外部システム連携へのアクセスパス	1	1														
50	3.2.9-4	外部システム連携から内部システムへのアクセスパス	1	1														
51	3.2.9-5	外部システム連携に関するアクセスパスのプロトコル	1	1														
52	3.2.9-6	外部システム連携のサービスインタフェース	1	1														
			2	1														
			3	1	〔BF管理的な外部システム連携〕へのアクセス													
			4	1	〔業務AP (サービスのな外部システム連携) へのアクセス													
			5	1	〔DBアクセス基盤サービスのな外部システム連携) へのアクセス													
53	3.2.10-1	業務アプリケーション (外受) の責務	1	1														
54	3.2.10-2	業務アプリケーション (外受) の配置と機能	1	1														
			2	1	業務AP (外受) の提供機能													
55	3.2.10-3	業務アプリケーション (外受) へのアクセスパス	1	1														

項番	規約番号	規約名	基準No.	手順No.	手順タイトル	A P - V 記入欄				I P O 記入欄								備考
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		細則(*1)	評価日	評価者	規約(*2)	
56	3.2.10-4	業務アプリケーション（外受）からのアクセスパス	2	2														
57	3.3.1-1	サブシステム間の連携1（契機）	1	1	サブシステム間の契機授受方法													
				2	連携先が業務AP（サービス）時の一意特定不可（通知）													
				2	連携先が業務AP（サービス）時の一意特定不可（業務処理）													
58	3.3.1-2	サブシステム間の連携2（業務情報）	1	1	サブシステム間での業務情報授受方法													
59	3.4.1-1	重複データの禁止	1	1	重複データ排除の結果													
60	3.4.2-1	業務アプリケーションの版管理	1	1	同一業務の版管理（業務AP（サービス））													
				2	同一業務の版管理（業務AP（画面））													
				3	同一業務の版管理（業務AP（バッチ））													
				4	同一業務の版管理（業務AP（外受））													
				2	1 版管理された業務AP（サービス）の利用方法													
61	3.4.3-1	使用する文字コード	1	1														
62	3.4.4-1	システム利用者の認証・認可	1	1														
63	3.4.4-2	システム構成要素間の認証・認可	1	1														
64	3.4.5-1	業務キーと業務キー区分名の基本的構成	1	1														

*1: 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。
*2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。
例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。
導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。

項番	規約番号	規約名	No.	No.	手順タイトル	A P－V記入欄				I P O記入欄				備考		
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果				
								細則(*1)	評価日			評価者	規約(*2)		細則(*1)	評価日
1	別1 2.1-1	実行可能モデルで使用可能なBPMN要素	1	1												
2	別1 2.1-2	記述モデル及び分析モデルで使用可能なBPMN要素	1	1	使用可能なBPMN要素											
3	別1 2.2-1	実行可能モデルにおける識別子	1	1												
4	別1 2.3-1	ラベルに係る命名規則	1	1	ラベルの命名規則規定											
			2	2	ラベルの命名規則順守											
5	別1 2.4-1	サブシステム内の表記方法の統一	1	1	ビジネスプロセスのBPMN表記規定											
			2	2	ビジネスプロセスのBPMN表記の規定順守											

*1: 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。
*2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。
例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。
導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。

項番	規約番号	規約名	基準 No.	手順 No.	手順タイトル	A P－V記入欄				I P O記入欄				備考		
						記載箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果		確認箇所 ※設計成果物名と章項節を記載	コメント ※評価が「適合」以外の場合は必ず記載	評価結果				
								細則(*1)	評価日			評価者	規約(*2)		細則(*1)	評価日
1	別1 2.1-1	実行可能モデルで使用可能なBPMN要素	1	1	使用可能なBPMN要素											
2	別1 2.1-2	記述モデル及び分析モデルで使用可能なBPMN要素	1	1												
3	別1 2.2-1	実行可能モデルにおける識別子	1	1	BPMN要素の識別子											
			2	2	識別子へのマルチバイト文字使用不可											
4	別1 2.3-1	ラベルに係る命名規則	1	1	ラベルの命名規則規定											
			2	2	ラベルの命名規則順守											
5	別1 2.4-1	サブシステム内の表記方法の統一	1	1												
			2	2												

*1: 評価の決定方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。
*2: 規約の評価結果は細則の評価結果より導出する。
例: 細則の評価結果に1つでも「不適合」があれば規約の評価結果は「不適合」となる。
導出方法については「技術的整合性検証プロセスガイドライン」を参照のこと。